

永山まちづくり実行委員会
令和 5 年度地域活動計画
(案)

< 記載項目 >

1	地域まちづくりの地域目標	1
2	令和 5 年度事業計画	1
3	令和 5 年度永山まちづくり推進協議会の事業実施体制一覧	3
4	令和 5 年度各事業の一覧 (総括表)	4
5	永山まちづくり実行委員会名簿, 規約	6
6	各事業の詳細 (事業計画書・委員名簿)	9

永山まちづくり実行委員会

1 永山地域まちづくりの地域目標

屯田の歴史を引き継ぐ地域住民が結束したまちづくり

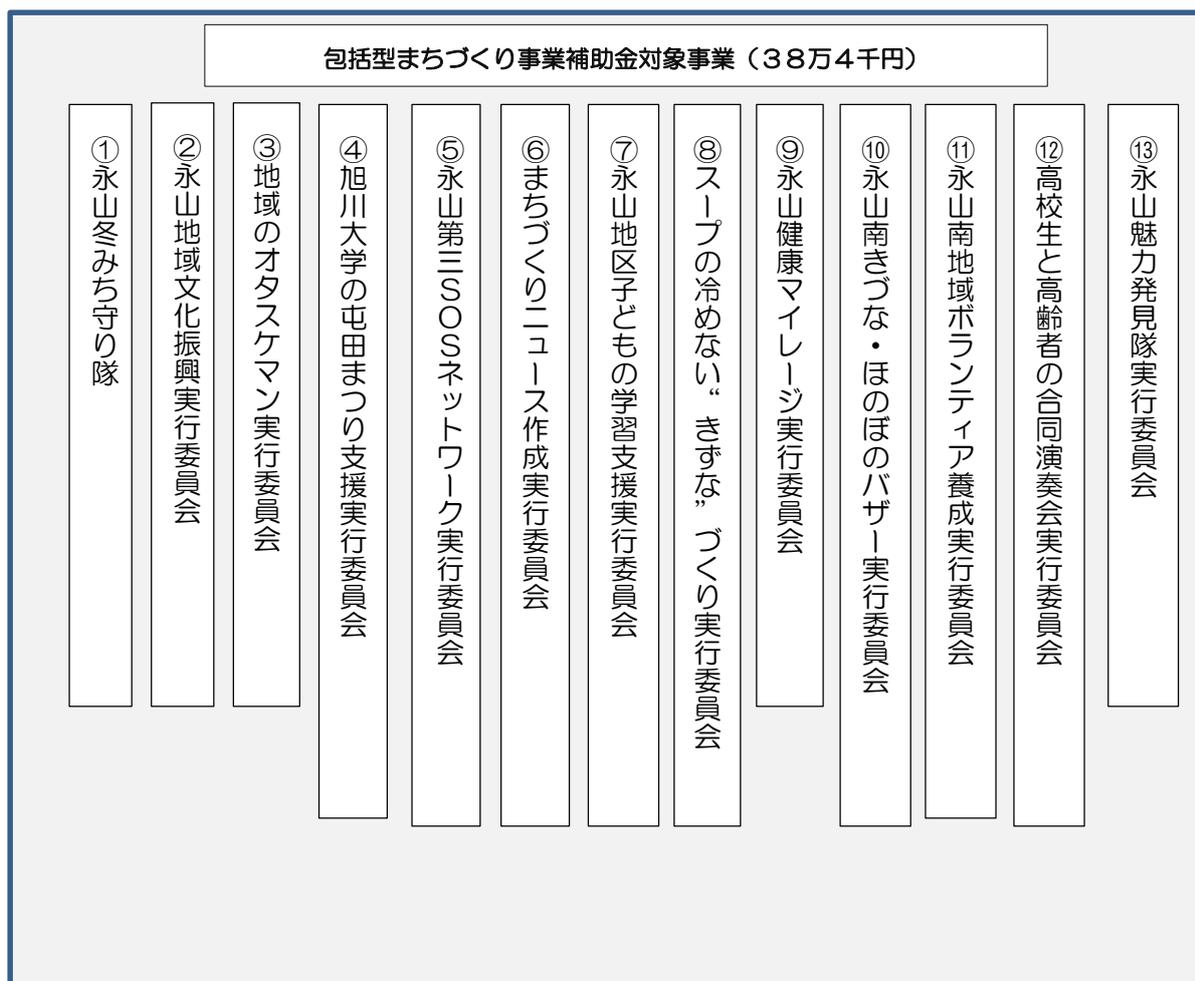
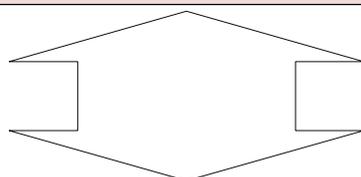
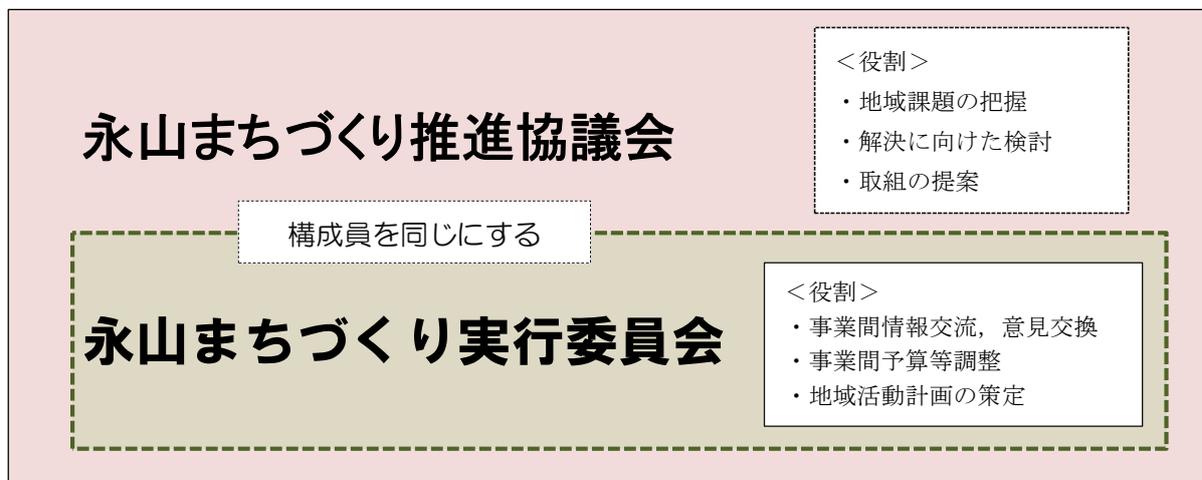
2 令和5年度事業計画（包括型まちづくり事業補助金対象事業）

事業計画書

事業名	永山まちづくり推進事業
事業の目的・実施内容	<p>1 事業の目的</p> <p>様々な地域課題に対応するため、事業を実施する各実行委員会が互いに情報共有し連携・調整することで、課題に対し効率的かつ効果的な解決策の対応を図り、地域力の更なる向上を目指すことを目的とする。</p> <p>2 実施内容</p> <p>永山まちづくり推進協議会において作成された「永山まちづくり推進プログラム」に基づき各種事業の企画・実施を行う。</p> <p>各事業の進捗状況を共有し、効率的かつ効果的に行われるよう全体の事業調整等や、事業の実施に伴う効果や課題等を整理し報告する。</p> <p>なお、地域活動計画に基づく包括型まちづくり事業は、次のとおり(13事業)。</p> <p>○実施主体 ～ 永山まちづくり実行委員会</p> <p>(1) 地域自主除排雪事業 [事業主体：永山冬みち守り隊]</p> <p>(2) 永山地域文化保存・振興事業 [事業主体：永山地域文化振興実行委員会]</p> <p>(3) 地域のオタスケマン事業 [事業主体：地域のオタスケマン実行委員会]</p> <p>(4) 旭川大学の屯田まつり支援事業 [事業主体：旭川大学の屯田まつり支援実行委員会]</p> <p>(5) 永山第三 SOS ネットワーク事業 [事業主体：永山第三 SOS ネットワーク実行委員会]</p> <p>(6) まちづくりニュース作成事業 [事業主体：まちづくりニュース作成実行委員会]</p> <p>(7) 永山地区子どもの学習支援事業 [永山地区子どもの学習支援実行委員会]</p> <p>(8) スープの冷めない“きずな”づくり事業 [スープの冷めない“きずな”づくり実行委員会]</p>

	<p>(9) 永山健康マイレージ事業 [永山健康マイレージ実行委員会]</p> <p>(10) SDGsに取り組もう ～永山南きづな・ほのぼのバザー [永山南きづな・ほのぼのバザー実行委員会]</p> <p>(11) 永山南地域ボランティア養成事業 [永山南地域ボランティア養成実行委員会]</p> <p>(12) 高校生と高齢者の合同演奏会事業 [高校生と高齢者の合同演奏会実行委員会]</p> <p>(13) 永山魅力発見隊 [永山魅力発見隊実行委員会]</p>
事業期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日 まで

3 令和5年度永山まちづくり推進協議会の事業実施体制一覧



4 各事業一覧（総括表）

1) 包括型まちづくり事業補助金対象事業（予算額38万4千円） … 13事業

事業名称	事業内容等	補助費 (総事業費)	実行体制	備考
1 地域自主除排雪事業	・永山第三地域の冬季の冬みちを守る活動を、他の地域に広める。	10千円 (10千円)	永山冬みち守り隊 (会長：葛西 輝昭) 委員数：9名	
2 永山地域文化保存・振興事業	・地域の文化活動に関する協議を行っていく。	10千円 (10千円)	永山地域文化振興実行委員会 (会長：信木 晴雄) 委員数：8名	
3 地域のオタスケマン事業	・町内会やボランティア活動等を地域の小学校の授業を通じて宣伝・普及していく。	10千円 (10千円)	地域のオタスケマン実行委員会 (会長：葛西 輝昭) 委員数：4名	
4 旭川大学の屯田まつり支援事業	・旭川大学屯田まつりサークルと永山第二地区市民委員会のあんどんづくり	10千円 (10千円)	旭川大学の屯田まつり支援実行委員会 (会長：信木 晴雄) 委員：12名	
5 永山第三SOSネットワーク事業	・フォーラムの開催や、実際に見守り活動を実施する。	20千円 (20千円)	永山第三SOSネットワーク実行委員会 (会長：葛西 輝昭) 委員 10名	
6 まちづくりニュース作成事業	・まち協の活動に関するチラシを作成し、地域の皆さんにお知らせする。	30千円 (30千円)	まちづくりニュース作成実行委員会 委員：6名	
7 永山地区子どもの学習支援事業	・永山公民館自習室で、自習室を利用している子どもたちの見守りを行う。	30千円 (30千円)	永山地区子どもの学習支援実行委員会 (会長：桑島 保夫) 委員：4名	永山公民館と連携し、開催。

8 スープの冷めない“きずな”づくり事業	・介護施設や学生, 地域が連携し, 高齢者等の食の健康・見守りを行う。	50 千円 (50 千円)	スープの冷めない“きずな”づくり実行委員会 (会長: 橋坂 いずみ) 委員: 6 名	
9 永山健康マイレージ事業	・健康増進や介護予防につながる食や運動の推進	50 千円 (50 千円)	永山健康マイレージ実行委員会 (会長: 豊島 琴恵) 委員: 6 名	
10 永山南きづな・ほのぼのバザー事業	・障がい者や高齢者が社会や地域とつながるバザーを実施する。	50 千円 (50 千円)	永山南きづな・ほのぼのバザー実行委員会 (会長: 桑島 保夫) 委員: 12 名	
11 永山南地域ボランティア養成事業	・地域の困り事の解決のため, アンケート調査やボランティア研修を実施する。	50 千円 (50 千円)	永山南地域ボランティア養成実行委員会 (会長: 増田 晃) 委員: 7 名	
12 高校生と高齢者の合同演奏会 【新規】	・旭川大学高校(旭川志峯高校)とデイサービス「生きる音」の合同演奏会を開催し, 世代間交流を図る。	30 千円 (30 千円)	高校生と高齢者の合同演奏会実行委員会 (会長: 橋坂 いずみ) 委員: 7 名	
13 永山魅力発見隊 【新規】	・永山の魅力あるスポットを学生や地域住民で再発見する。	34 千円 (34 千円)	永山魅力発見隊実行委員会 (会長: 塩尻 曜子) 委員: 4 名	

5 永山まちづくり実行委員会名簿

氏名	役職	所属団体等
石本 一三		あさひかわ商工会
上野 砂由紀		公募委員・上野ファーム
葛西 輝昭	副会長	永山地区市民委員会連絡協議会
紙谷 忠志		永山第三地区社会福祉協議会
北村 尚也		新旭川・永山南地区包括支援センター
桑畠 保夫	会長	永山西地区民生委員児童委員協議会
佐々木 忍		永山南地区市民委員会
塩尻 曜子		公募委員・永山南西地区市民委員会
杉山 文男		旭川市消防団第30分団
高橋 通江	監査	永山地域包括支援センター
高山 修		公募委員・三葉製菓株式会社
辻 研二	会計	永山第二地区市民委員会
土田 雅起		永山南地区社会福祉協議会
豊島 琴恵		旭川大学短期大学部(公立大学法人旭川市立大学短期大学部)
増田 晃		永山南きずな連絡協議会
増見 典弘		永山中中学校PTA
松本 浩司		公募委員・旭川公園ゲストハウス
宮腰 卓		北海道旭川農業高等学校
村井 博幸		永山南西地区市民委員会
山川 八重子		公募委員・農業者
計		20名

(令和5年3月16日現在・50音順・敬称略)

「永山まちづくり実行委員会」会則

(名 称)

第1条 本会は、「永山まちづくり実行委員会」(以下「会」という。)と称する。

(目 的)

第2条 会は、永山まちづくり推進協議会(以下「協議会」という。)の所管区域において、協議会の意見を踏まえた地域の活動計画(以下「活動計画」という。)に基づく、各種事業を束ねる体制を構築し、地域内の横連携を促進するとともに、多様化する地域課題に柔軟かつ計画的に実行することにより、地域力の向上を図ることを目的とする。

(組 織)

第3条 会は、次に掲げる者で構成する。

- (1)活動計画に基づく、各種事業を実施している団体の長及びその団体に所属している者。
- (2)会が特別に認めた者。

(事 業)

第4条 会は、第2条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 活動計画に基づく、各種事業の企画・実施及び総括・事業調整
- (2) その他、目的を達成するために必要と認められる事業

(役員を選任)

第5条 会に次の役員を置く。

- (1)会 長 1名
- (2)副会長 複数名
- (3)会 計 1名
- (4)監 査 1名

(役員の職務)

第6条 会長は、会を代表し、会務を総括するとともに、会議の進行を担う。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

3 会計は、会の会計を担当する。

4 監査は、会の会計を監査する。

(役員の任期)

第7条 役員任期は、選任の日の属する年度の末日までとする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠により就任した役員任期は、前任者の残任期間とする。

(会 議)

第8条 会議の招集は会長が行う。

2 会議の開催は、会員の過半数の出席をもって成立する。ただし、やむを得ないときは、委任状をもって出席に代えることができる。

3 議事の決定は、出席総数の過半数をもって成立する。

(経 費)

第9条 会の運営に要する経費は、補助金、助成金、寄付金、その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第10条 会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年 3月 31 日までとする。

(事務所)

第11条 会の事務所は、会長宅に置く。

(補 則)

第12条 この会則に定めるもののほか、必要な事項については、その都度、会議を招集してこれを定める。

附 則

- 1 この会則は、平成29年3月29日から施行する。
- 2 会の初年度の会計年度は、第 10 条の規定にかかわらず、会の設立した日から当該年度の3月 31 日までとする。

6 各事業の詳細（各実行委員会・事業計画及び実行委員会名簿）

6-1 包括型補助対象事業

1) 地域自主除排雪事業

事業計画書

（ 永山冬みち守り隊 ）

事業名	地域自主除排雪事業
事業の目的・内容	<p>1 事業の目的 雪国のテーマとして住民の日常生活と密接に関係が深い、生活道路の除排雪の問題は重要な課題である。そこで、住民の空き地を無償でお借りして、交差点の雪を排雪するなど、冬の永山地区の安全な環境づくりとして、地域自主除排雪に取り組む。併せて、各市民委員会に自主説明会、並びにパトロールの実施等啓蒙活動を実施する。</p> <p>2 実施団体 永山まちづくり推進協議会の委員、各市民委員会からの参加者で実行委員会「永山冬みちまもり隊」を編成し、事業を実施する。</p> <p>3 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 除雪に関する地域説明会（市民委員会・町内会・老人会等） ・ 地域の除雪用・排雪用空き地の確保 ・ 除排雪状況パトロール（市民委員会・町内会等） ・ 地域自主除排雪に係る指導と実施 ・ 他地域（旭川市）への講演・説明会への出席
事業期間	令和5年10月から令和6年3月まで

事業収支予算

収入

(単位：円)

区分	金額	内容
補助金	10,000	旭川市地域まちづくり推進事業補助金
計	10,000	

支出

(単位：円)

区分	金額	内容
消印費	5,000	会議資料作成費、パトロールお茶代
使用料	5,000	除排雪説明会会場費
計	10,000	

永山冬みち守り隊 委員名簿

敬称略 令和5年2月末現在

氏名	役職	所属団体
葛西 輝昭	会長	永山第三地区市民委員会
村井 博幸	副会長	永山南西地区市民委員会
森川 俊美	会計	永山第三地区市民委員会
三浦 敏章	監査	永山第二地区市民委員会
石井 幸一	委員	永山第二地区市民委員会
越前 恭介	委員	永山むつみ町内会
猪股 實	委員	永山むつみ町内会
明田 美実	委員	永山むつみ町内会
鈴木 勲	委員	永山第三地区市民委員会
計		9名

2) 永山地域文化保存・振興事業

事業計画書

(永山地域文化振興実行委員会)

事業名	永山地域文化保存・振興事業
事業の目的・内容	<p>1 事業の目的 永山の伝統文化や地域の成り立ちに触れることで、地域への愛着を深めてもらえるよう、その周知啓発に向けた各種事業に取り組む。</p> <p>2 実施内容 【永山地域の歴史や芸能に親しむ機会の拡大】 ・永山文化協会が成果を報告する永山地区文化祭（10月開催）において、地域の郷土資料館が保管している歴史資料を展示する。 ・併せて、郷土資料への愛着や関心を高めてもらえるよう、展示資料の選定や会場設営において、旭川大学（公立大学法人旭川市立大学）など高等教育機関の学生、生徒に作業協力を提案する。</p>
事業期間	令和5年4月から令和6年3月まで

事業収支予算

収入

(単位：円)

区分	金額	内容
補助金	10,000	旭川市地域まちづくり推進事業補助金
計	10,000	

支出

(単位：円)

区分	金額	内容
消印費	5,000	資料掲示ボード、用紙代
事務費	5,000	展示物等運搬費
計	10,000	

永山地域文化振興実行委員会 委員名簿

敬称略 令和5年2月末現在

氏名	役職	所属団体
信木 晴雄	会長	旭川大学（公立大学法人旭川市立大学）教授
太田 覚	副会長	永山神社 宮司
田村 文男	副会長	永山屯田会
森谷 隆一	副会長	永山文化協会
野村 幸輝	委員	旭川大学（公立大学法人旭川市立大学）准教授
土田 雅起	委員	永山南地区社会福祉協議会
山内 亮史	委員	旭川大学高等学校（旭川志峯高校）学校長
杉山 文男	委員	旭川市消防団第30分団
計		8名

*会計，監査は，R5年4月以降決定する。

3) 地域のオタスケマン事業

事業計画書

(地域のオタスケマン実行委員会)

事業名	地域のオタスケマン事業
事業の目的・内容	<p>1 事業の目的 小学生のうちから、町内会の大切さ又ボランティアについて理解してもらおう。</p> <p>2 実施内容 永山西小学校の3年生を対象に「町内会」についての授業を地域の人が行って来ましたが、この活動を徐々に他の小学校にも広めていく。(永山東小学校、永山小学校、永山南小学校) 実施状況の様子を画像として、旭川の他地域にも広めていく。</p>
事業期間	令和5年4月から令和6年3月まで

事業収支予算

収入 (単位:円)

区分	金額	内容
補助金	10,000	旭川市地域まちづくり推進事業補助金
計	10,000	

支出 (単位:円)

区分	金額	内容
消耗品費	10,000	・印刷用インク・チラシ・用紙代
計	10,000	

地域のオタスケマン実行委員会 委員名簿

敬称略 令和5年2月末現在

氏名	役職	所属団体
葛西 輝昭	会長	永山第三地区市民委員会
森川 俊美	副会長	永山第三地区市民委員会
辻 研二	会計	永山第三地区市民委員会
村井 博幸	監査	永山南西地区市民委員会
計		4名

4) 旭川大学の屯田まつり支援事業

事業計画書

(旭川大学の屯田まつり支援実行委員会)

事業名	旭川大学の屯田まつり支援事業
事業の目的・内容	<p>1 事業の目的</p> <p>旭川大学（公立大学法人旭川市立大学）の学生が，地元の永山第二地区市民委員会と連携しあんどん作りを行い，大学は地域や歴史を学び，地域は人手不足や，SNS等の情報発信不足を協力してもらうことで，互いに有益な連携を図ることを目的とする。</p> <p>2 実施内容</p> <p>大学内の学生に，永山第二市民委員会のあんどんづくりに協力する体制を確立してもらい，その様子，話などをまとめ随時SNSに掲載してもらう。</p> <p><事業主体></p> <p>旭川大学地域研究所（旭川市立大学地域連携研究センター） 永山第二地区市民委員会</p>
事業期間	令和5年4月から令和6年3月まで

事業収支予算

収入

(単位：円)

区分	金額	内容
補助金	10,000	旭川市地域まちづくり推進事業補助金
計	10,000	

支出

(単位：円)

区分	金額	内容
消耗品費	10,000	・印刷用インク，チラシ，用紙代
計	10,000	

旭川大学の屯田まつり支援実行委員会 委員名簿

敬称略 令和5年2月末現在

氏名	役職	所属団体
信木 晴雄	会長	旭川大学（公立大学法人旭川市立大学）教授
辻 研二	副会長	永山第二地区市民委員会
佐野 弘明	委員	永山第二地区市民委員会
高橋 知則	委員	永山第二地区市民委員会
石井 幸一	会計	永山第二地区市民委員会
三浦 敏章	委員	永山第二地区市民委員会
志田 千恵美	委員	永山第二地区市民委員会
宮本 幸子	委員	永山第二地区市民委員会
宮下 史恵	委員	旭川大学（公立大学法人旭川市立大学）助教
斉藤 杏奈	監査	旭川大学（公立大学法人旭川市立大学）OB
鈴木 淑仁（ひ でみ）	委員	旭川大学（公立大学法人旭川市立大学）OB
稲田 友紀	委員	旭川大学（公立大学法人旭川市立大学）OB
計		12名

5) 永山第三SOSネットワーク事業

事業計画書

(永山第三SOSネットワーク実行委員会)

事業名	永山第三SOSネットワーク事業
事業の目的・内容	<p>1 事業の目的 永山第二地区、永山南地区では、認知症等による行方不明者、帰宅困難者に対応するため、SOSネットワークを構築している。現在、第三地区では実施していないため、構築に向けての協議を行う。</p> <p>2 実施内容 SOSネットワークに関する専門家や、実施しているところの状況を地域で聞き、第三地区に見合った手法の検討を進める。</p> <p><事業主体> 永山第三地区市民委員会 永山第三地区社会福祉協議会 永山東地区民生委員児童委員協議会 むつみ町内会</p>
事業期間	令和5年4月から令和6年3月まで

事業収支予算

収入

(単位:円)

区分	金額	内容
補助金	10,000	旭川市地域まちづくり推進事業補助金
計	10,000	

支出

(単位:円)

区分	金額	内容
消耗品費	10,000	ちらし, 用紙代 他
計	10,000	

永山第三SOSネットワーク実行委員会 委員名簿

敬称略 令和5年2月末現在

氏名	役職	所属団体
葛西 輝昭	会長	永山第三地区市民委員会
紙谷 忠志	副会長	永山東地区民生委員児童委員協議会
富樫 英俊	会計	永山第三地区社会福祉協議会
高橋 通江	監査	永山地域包括支援センター
栗田 克実	委員	旭川大学（公立大学法人旭川市立大学）教授
笹川 英雄	委員	永山第三地区市民委員会
大津 健二	委員	むつみ町内会
東海林 正雄	委員	むつみ町内会
成田 美貴	委員	旭川市社会福祉協議会 地域まるごと支援員
菊地 久志	委員	旭川市社会福祉協議会 地域まるごと支援員
計		10名

6) まちづくりニュース作成事業

事業計画書

(まちづくりニュース作成実行委員会)

事業名	まちづくりニュース作成事業
事業の目的・内容	<p>1 事業の目的 永山まちづくり推進協議会で課題解決のために行われている様々な事業を広く地域の人に知ってもらうことを目的とする。</p> <p>2 実施内容 「まちづくり協議会 NEWS」と作成し、年1回活動についての広報を回覧版で行う。</p> <p><事業主体> 永山まちづくり実行委員会</p>
事業期間	令和5年4月から令和6年3月まで

事業収支予算

収入

(単位:円)

区分	金額	内容
補助金	30,000	旭川市地域まちづくり推進事業補助金
計	30,000	

支出

(単位:円)

区分	金額	内容
消耗品費	30,000	・印刷費(振込代込)
計	30,000	

まちづくりニュース作成実行委員会 委員名簿

敬称略 令和5年2月末現在

氏名	役職	所属団体
石本 一三	委員	あさひかわ商工会
葛西 輝昭	委員	永山地区市民委員会連絡協議会
桑島 保夫	委員	永山西地区民生委員児童委員協議会
高橋 通江	委員	永山地域包括支援センター
辻 研二	委員	永山第二地区市民委員会
松本 浩司	委員	公募委員・旭川公園ゲストハウス
計		6名

7) 永山地区子どもの学習支援事業

事業計画書

(永山地区子どもの学習支援実行委員会)

事業名	永山地区子どもの学習支援事業
事業の目的・内容	<p>1 事業の目的</p> <p>永山図書館の休館日である月曜日に、永山公民館音楽室を学習室として児童・生徒等に開放する。開放時は、大学生のボランティアが見守りを行うとともに、予習・復習、宿題の支援を行うことにより学力の向上を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>大学生のボランティアが、自主学習を行っている児童・生徒等の見守りを行うとともに、求めがあれば予習・復習、宿題の支援を行う。</p> <p>また、自習室を知ってもらいきっかけやつながりをもってもらうのを目的に、主に小学生を対象とした「モルック大会」やもの作りなどのイベントを開催する。</p> <p>自習室開放は、毎週月曜日の午後3時から午後5時まで、夏休み期間中は、8月17日・18日も実施。</p> <p>イベントの開催は5、8、10、12、2月の予定</p>
事業期間	令和5年4月から令和6年3月まで

事業収支予算

収入

(単位:円)

区分	金額	内容
補助金	30,000	旭川市地域まちづくり推進事業補助金
計	30,000	

支出

(単位:円)

区分	金額	内容
消印費	30,000	アルコール消毒液購入(5千円), A4用紙・カラーインク購入(10千円) 印刷トナー購入(15千円)
計	30,000	

永山地区子どもの学習支援実行委員会 名簿

敬称略 令和5年2月末現在

氏名	役職	所属団体
桑島 保夫	会長	永山西地区民生委員児童委員協議会
伊藤 穰	副会長	旭川大学（公立大学法人旭川市立大学）経済学部齋藤ゼミ
三木 瑠菜	会計	旭川大学（公立大学法人旭川市立大学）経済学部齋藤ゼミ
上川 愛香	監査	旭川大学（公立大学法人旭川市立大学）経済学部齋藤ゼミ
選任中	委員	
選任中	委員	
選任中	委員	
計		4名

スープの冷めない“きずな”づくり実行委員会 委員名簿

敬称略 令和5年2月末現在

氏名	役職	所属団体
橋坂 いずみ	会長	デイサービス生きる音
山川 八重子	副会長	公募委員・農業者
豊島 琴恵	会計	旭川大学短期大学部（公立大学法人旭川市立大学短期大学部）教授
高橋 通江	監査	永山地域包括支援センター
成田 美貴	委員	旭川市社会福祉協議会 地域まると支援員
菊地 久志	委員	旭川市社会福祉協議会 地域まると支援員
計		6名

9) 永山健康マイレージ事業

事業計画書

(永山健康マイレージ実行委員会)

事業名	永山健康マイレージ事業
事業の目的・内容	<p>1 事業の目的 地域全体で健康への意識を高め、ウォーキングコースの整備や食生活改善啓発チラシの作成などにより、外出自粛生活の中でも介護予防に取り組む市民の増加をめざすことを目的とする。</p> <p>2 実施内容 ・ウォーキングコースを整備しマップを作成，配布。 ・食生活改善啓発チラシを作成，配布。</p> <p>(実施主体) 永山健康マイレージ実行委員会</p>
事業期間	令和5年4月から令和6年3月まで

事業収支予算

収入 (単位:円)

区分	金額	内容
補助金	50,000	旭川市地域まちづくり推進事業補助金
計	50,000	

支出 (単位:円)

区分	金額	内容
消印費	50,000	・印刷費 ・啓発グッズ購入費 等
計	50,000	

永山健康マイレージ実行委員会 委員名簿

敬称略 令和5年2月末現在

氏名	役職	所属団体
豊島 琴恵	会長	旭川大学短期大学部（公立大学法人旭川市立大学短期大学部）副学長
松本 茜	副会長	旭川公園ゲストハウス
楠本 ルミ子	会計	永山地域包括支援センター
高橋 通江	監査	永山地域包括支援センター
道徳 玲子	委員	永山住民・食生活改善委員
石川 千恵子	委員	イオン旭川永山店
計		6名

10) 永山南きづな・ほのぼのバザー

事業計画書

(永山南きづな・ほのぼのバザー実行委員会)

事業名	SDGs に取り組もう ～永山南きづな・ほのぼのバザー～
事業の目的・内容	<p>1 事業の目的</p> <p>永山地区の障がい事業所が作成したパンや手作りマスク等を認知症当事者や障がい者が役割を担いながら販売するバザーを開催することで、「認知症になったら、障がい者になったら何もできない!」というイメージを払拭しつつ、当事者が活躍でき、再度、社会に繋がることのできる場とする。</p> <p>また、地域の高齢者が広く集まることのできる場を提供することで、コロナウイルスによる閉じこもりからの身体・認知機能の低下、社会との関わりが希薄化している状況を打開する一歩とする。</p> <p>地域の施設や住民が絆を深めながら活躍することで、「あらゆる年齢のすべての人々の健康な生活を確保し、福祉を促進する」というSDGsの目標を達成する役割を担い、地域社会との関わりを持つことにつなげる。</p> <p>2 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・永山南きづな・ほのぼのバザーの企画・会議の実施 ・認知症、障がい当事者の方の活動の場の提供 ・開催について地域への周知活動と地域住民の参加促進 ・地域企業との連携 <p>3 事業主体</p> <p>永山南きづな・ほのぼのバザー実行委員会</p> <p>4 実施日及び場所（予定）</p> <p>令和5年9～10月頃 永山住民センター体育館（未定）</p> <p>事前の準備会議等は随時予定</p>
事業期間	令和5年4月から令和6年3月まで

事業収支予算

収入

(単位：円)

区分	金額	内容
補助金	50,000	旭川市地域まちづくり推進事業補助金
計	50,000	

支出

(単位：円)

区分	金額	内容
会場費	15,000	・体育館使用料 ・実行委員会開催時の会議室使用料
消耗品費	35,000	・案内チラシ印刷費 ・開催周知広告折込費 ・感染予防対策物品・事務用品費 ・飲み物消耗品費
計	50,000	

永山南きづな・ほのぼのバザー実行委員会 委員名簿

敬称略 令和5年2月末現在

氏名	役職	所属団体
桑島 保夫	会長	永山西地区民生委員児童委員協議会
土田 雅起	副会長	永山南地区社会福祉協議会
古川 稔	会計	永山南地区社会福祉協議会
田中 誠康	監査	新旭川・永山南地域包括支援センター
吉田 ひとみ	委員	グループホームゆとり
室岩 麻美	委員	グループホームライラック
野田 真理子	委員	グループホームライラック
寺井 松子	委員	住宅型有料老人ホームあんじゅ一番館
西塚	委員	指定障害福祉サービス事業所 旭川ヒューマンサービスセンター
菊地 久志	委員	旭川市社会福祉協議会 地域まるごと支援員
萩澤 しげ子	委員	新旭川・永山南地域包括支援センター
北村 尚也	委員	新旭川・永山南地域包括支援センター
計		12名

11) 永山南地域ボランティア養成事業

事業計画書

(永山南地域ボランティア養成実行委員会)

事業名	永山南地域ボランティア養成事業
事業の目的・内容	<p>1 事業の目的</p> <p>地域の困り事として、除雪や自宅内のちょっとした作業など様々なものがあるが、その関連の困り事は介護保険サービスでは対応出来ないことが多く、現状、既存のインフォーマルサービスや個人個人の厚意や親切によって対応されている状況にある。しかし、それだけでは対応しきれない部分や担われている方（主に地域役員）の負担ばかりが強くなってしまい担うにも限界がある。</p> <p>今後、ますます高齢化が進み、よりインフォーマルサービス等を必要とする方が増えていくことも予想されるため、地域で活動出来る方の把握を行い、現役世代や福祉関係機関も巻き込みながら困り事のある地域住民を永山南地域の手で支えられるような体制構築を目指す。</p> <p>まずは、毎年相談が多く需要がある「除雪」に焦点を当ててボランティア養成、体制づくりを進めていく。</p> <p>2 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で出来ることやボランティア募集のため案内やアンケートの実施 ・ボランティア養成のための研修会実施 <p>3 事業主体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・永山南地域ボランティア養成実行委員会 <p>4 実施日及び場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度から随時、実行する。
事業期間	令和5年4月から令和6年3月まで

事業収支予算

収入

(単位：円)

区分	金額	内容
補助金	50,000	旭川市地域まちづくり推進事業補助金
計	50,000	

支出

(単位：円)

区分	金額	内容
会場費	15,000	・研修会会場費（複数回）
消耗品費	35,000	・案内・アンケート印刷費 ・案内・アンケート広告折込費（ライナー） ・研修会資料印刷費 ・研修会物品購入費
計	50,000	

永山南地域ボランティア養成実行委員会 委員名簿

敬称略 令和5年2月末現在

氏名	役職	所属団体
増田 晃	会長	永山南市民委員会
桑島 保夫	副会長	永山西地区民生委員児童委員協議会
古川 稔	会計	永山南地区社会福祉協議会
田中 誠康	監査	新旭川・永山南地域包括支援センター
土田 雅起	委員	永山南地区社会福祉協議会
北村 尚也	委員	新旭川・永山南地域包括支援センター
菊地 久志	委員	旭川市社会福祉協議会 地域まるごと支援員
計		7名

12) 高校生と高齢者の合同演奏会

事業計画書

(高校生と高齢者の合同演奏会実行委員会)

事業名	高校生と高齢者の合同演奏会
事業の目的・内容	<p>1. 事業目的 旭川大学高等学校（旭川志峯高等学校）とデイサービス「生きる音」の合同演奏会を実施し、世代間交流を図る。</p> <p>2. 実施内容 デイサービスセンター「生きる音」の5周年に、今までの活動成果の発表を行う。その発表に合わせて旭川大学高等学校（旭川志峯高等学校）の吹奏楽部の演奏をを聴いたり、一緒に演奏をすることにより世代間交流を図る。</p> <p>〈事業主体〉 高校生と高齢者の合同演奏会実行委員会 デイサービス「生きる音」 旭川大学高等学校（旭川志峯高等学校）吹奏楽部</p> <p>〈協力機関〉 永山地域包括支援センター 旭川市永山支所</p>
事業期間	令和5年4月から令和6年3月まで

事業収支予算

収入 (単位:円)

区分	金額	内容
補助金	10,000	旭川市地域まちづくり推進事業補助金
計	10,000	

支出 (単位:円)

区分	金額	内容
消耗品	10,000	・事務用品, パンフレット, チラシ他
計	10,000	

高校生と高齢者の合同演奏会実行委員会 委員名簿

敬称略 令和5年2月末現在

氏名	役職	所属団体
橋坂 いずみ	会長	デイサービス生きる音
本間 正彦	副会長	旭川大学高等学校(旭川志峯高等学校)(教頭)
濱口 真理子	会計	デイサービス生きる音
高橋 通江	監査	永山地域包括支援センター
安ヶ平 桜	委員	旭川大学高等学校(旭川志峯高等学校)(吹奏楽部部长)
坂本 優日	委員	旭川大学高等学校(旭川志峯高等学校)(吹奏楽部副部长)
中川 忍	委員	デイサービス生きる音
計		7名

13) 永山魅力発見隊

事業計画書

(永山魅力発見隊実行委員会)

事業名	永山魅力発見隊
事業の目的・内容	<p>1 事業概要 永山の魅力あるスポットを学生や地域住民で再発見する。</p> <p>2 実施内容（案） 永山の学生を対象に、永山の魅力を再発見するバスツアーなどを実施する。 詳細については、令和5年度に検討する。</p>
事業期間	令和5年4月から令和6年3月まで

事業収支予算

収入

(単位：円)

区分	金額	内容
補助金	34,000	旭川市地域まちづくり推進事業補助金
計	34,000	

支出

(単位：円)

区分	金額	内容
消耗品費	34,000	・資料印刷費
計	34,000	

